

「貞奴と桃介」の初恋は終わったのです。大失恋を乗り越えた貞は初代内閣総理大臣の伊藤博文を後ろ盾に名妓の名称「奴」を受け継ぎ、霞町一の芸者となりました。そして、オッペケ節で当時一躍



貞奴と桃介

Sadayakko & Momosuke

さて、冒頭の質問ですが「貞奴は自立した一人の女性として、公私ともに桃介を支えた『事業パートナー』でした」とお応えしています。桃介が行った木曾川の7つの発電所の建設に、貞もまた大きく貢献した一人だったのです。

暮らし向きすべてを桃介に委ねていたのではなく、むしろ貞が桃介を支えていたのです。

かたや貞は、桃介とその事業のサポートの傍ら、川上絹布という会社を興して切り盛りしていたので、多忙な日々を送っていました。

この事業を成し遂げるには貞の力が必要であると感じた桃介は貞に協力を依頼しました。貞の芸者時代からの人脈やおもてなしに加えて、女優時代の欧米での経験や名声は、政界財界への働きかけや、外国からの技術者の接待にも欠かせないもので、この一大事業の大きな下支えになりました。その拠点として1920(大正9)年に名古屋に建てられたのが二葉御殿です。この館での貞との暮らしは、桃介にとって公私ともに接客の一切を貞に任せられるし、何より桃介自身も安らぐことができました。

有名になっていった壮士芝居の役者・川上音二郎と結婚し川上貞となります。貞は一座と共にアメリカに渡って、女優「マダム貞奴」として名を上げ、その後ヨーロッパに渡り1900(明治33)年のパリ万博の舞台では一世を風靡しました。帰国してからは川上一座の看板女優としても人気を博しました。音二郎との結婚生活は波乱万丈の日々でしたが、貞は懸命に音二郎を支えました。

勤務しましたが、病を患い療養生活を送ります。病床で株式投資をはじめめた桃介は儲けを重ねていきました。それを資金に様々な事業に関わるようになり実業家として大成していきました。

「二人はどのような関係だったのですか？」日頃、お客さまから一番多く聞かれる質問です。

貞奴と桃介は初恋の仲でした。

貞奴の本名は小山貞、両替商の娘として生まれましたが7歳で父親と死別して家業も傾いたこともあり、東京日本橋葺町の芸者置屋・浜田屋の養女になりました。

ある日、貞が馬で遠乗りした帰りに野犬に襲われていたところを、偶然通りかかった桃介が助けたことがきっかけとなり、互いに惹かれ合う仲となりました。この時、貞14歳、桃介17歳でした。桃介の本名は岩崎桃介、現在の埼玉県川越市の出身で慶應義塾の学生でした。

しかし一年後、桃介に福沢諭吉の次女・房との縁談話が持ちあがると、アメリカ留学を終えた後に結婚する運びとなり渡米前に結納を済ませました。二人の初恋は終わったのです。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、催事が中止または変更になる場合があります。各催事の詳細はお問い合わせください。

開館18周年

「ふたばの日」
2月8日(水)

2月8日(水)は
入館無料
文化のみち榎木館も
入館無料



写真でたどる「川上貞奴」

■語り:文化のみち二葉館 館長 緒方綾子
■日時:2月8日(水)14:00~15:00
■会場:1階大広間
■定員:30名(当日先着順 13:00~整理券配布)

川上貞奴の愛した雛人形とお琴

貞奴が大切にしていた雛人形とお琴を展示します。

■期間:2月8日(水)~2月15日(水)
■会場:1階展示室
■協力:成田山貞照寺



川上貞奴の手描き雛の羽織

貞奴直筆のお雛様を描いた羽織を展示します。

■期間:2月8日(水)~2月15日(水) ■会場:1階展示室

18周年記念コンサート
大正琴澄音会“大正ロマンの調べ”

ノスタルジック&モダンな大正ロマンの調べをお楽しみください。

■出演:大正琴澄音会、ミュージックベルSONNETTE
■日時:2月11日(土・祝)13:30~14:30
■会場:1階大広間 ■定員:50名
■申し込み方法:1月24日(火)10:00~文化のみち二葉館に電話申込み

18周年記念催事 五條流 子ども踊り

華やかで可愛い日本舞踊をお楽しみください。

■出演:五條流珠園会
■日時:2月12日(日)13:30~14:30
■会場:1階大広間 ■定員:50名
■申し込み方法:1月26日(木)10:00~文化のみち二葉館に電話申込み



「福よせ雛」

福よせ雛発祥の地、二葉館のお雛様をお楽しみください。

■期間:2月22日(水)~2月26日(日)
■会場:2階和室 ■協力:福よせ雛プロジェクト



福よせ雛公認 ROLLY執事 来館!

福よせ雛のお話などをお楽しみください。

■日時:2月22日(水)14:00~15:00
■会場:1階大広間 ■定員:50名(先着受付、座席指定)
■申し込み方法:2月15日(水)10:00~文化のみち二葉館に電話申込み

正絹で作る「雛きもの」制作講習会

ミニチュアサイズのきもの制作講習会です。

■日時:2月23日(木・祝)~2月25日(土)
各日10:30~12:00、13:30~15:00
■会場:1階集会室 ■材料費:1,000円(別途要入館料)
■定員:各回6名(中学生以上)
■申し込み方法:2月14日(火)10:00~文化のみち二葉館に電話申込み ■協力:福よせ雛プロジェクト



まちなかアーカイブ展

「芸創パレエアカデミー4回の記録」

■期間:1月12日(木)~1月18日(水)
■会場:2階和室 ■共催:芸術創造センター

文学企画「現代詩の母・永瀬清子と現代詩の長女・茨木のり子」展

現代詩を牽引した二人の女性詩人と愛知とのゆかりについて紹介します。

■期間:2月4日(土)~3月5日(日)
■会場:2階展示室



3月
March

「現代詩の母・永瀬清子と現代詩の長女・茨木のり子」展

トークイベント「現代詩の母・永瀬清子と現代詩の長女・茨木のり子」

■日時:3月4日(土)13:30~15:00
■会場:1階大広間
■鼎談:三田村博史(中部ペンクラブ顧問) 熊谷誠人(愛知県立熱田高等学校校長) 白根直子(赤磐市教育委員会 学芸員)
■定員:50名 ■申し込み方法:2月18日(土)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み

早咲き!桜みちまつり2023

名古屋で一最早咲く咲くオオカンザクラの桜みちで、各種イベントをお楽しみください。

■日時:3月11日(土)10:00~15:30
■会場:文化のみち二葉館、文化のみち榎木館、山吹谷公園



第2回 名古屋伝統工芸まつり

名古屋友禅、扇、櫛、仏具など

■期間:3月15日(水)~3月19日(日)
■会場:1階集会室 2階和室



伝統工芸体験講習会

■期間:3月18日(土)、3月19日(日)
■会場:1階集会室
■材料費:1,000円(別途要入館料) 参加は当日受付



「五感で楽しむ伝統芸能」三味線体験付 無料講習会

第四回 熱田生まれの流行歌 都々逸と熱田神戸節

■日時:3月25日(土)13:30~14:30
■会場:1階大広間 ■定員:10名
■申し込み方法:3月12日(日)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み



華房真子

華房小真

トニエコきっぷ・一日乗車券・メーグル1DAYチケットで
入館料割引一般200円→160円

